

キャラクター名  
月下 如月 (げっか きさら)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー キュマイラ		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプション			年齢	17	性別	女
覚醒	生誕	衝動	闘争	初期侵食率	33	%
出自	天涯孤独	経験	心の壁	邂逅	ビジネス	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	7
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	白兵	5r+3				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
UGNの先輩	P 幸福感	N 敵愾心			
過去のパートナー	P 連帯感	N 憐憫			
十七夜 星流	P 尊敬	N 偏愛			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	【肉体】判定ダイスに+[LV+2]個※このエフェクトが持続している間、素手を除くアイテムは全て装備、使用不可							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	素手データ変更→種別:白兵,技能:<白兵>,命中:0,攻撃力:[LV+8],ガード値:1,射程:至近							
渇きの主	2	4	メジャー	至近	単体	対決	-	
効果:	このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃で、対象の装甲値を無視してダメージを算出する。命中した場合、HP+[LV*4]点回復。※この攻撃は素手のみ							
ブラッドバーン	3	4	メジャー	-	-	対決	80	
効果:	攻撃力+[LV*4]このエフェクトを使用したメインプロセス終了時にHP-5							
フルパワーアタック	3	4	セッアッププロセス	至近	自身	自動	80	
効果:	攻撃力+[LV*5]※ラウンドの間【行動値】が0になる。このエフェクトによる【行動値】修正は他エフェクト優先。							
コンセントレイト:ブラム=ストーカー	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-LV ※下限7							
かしく歯車	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	自身の血液の流れを制御して精密な作業を迷うことなくこなす。							
猫の瞳	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	暗闇を見通すことができる。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

■マイナーアクション  
「獣化身《ルナルナ》」:《完全獣化》+《破壊の爪》:マイナー:自動:自身:至近:侵食=9  
腕と脚を特に獣化させて身体能力をあげる

■メジャーアクション  
「血渦裂斬《ギラギラ》」:《コンセントレイト:ブラム=ストーカー》+《渇きの主》:メジャー:<白兵>;対決:単体:至近:侵食=6  
獣化した鋭いかぎづめで相手を切り裂いて血を奪う。

「命渦激舞《メラメラ》」:《コンセントレイト:ブラム=ストーカー》+《渇きの主》+《ブラッドバーン》:メジャー:<白兵>;対決:単体:至近:侵食=10  
獣化した鋭いかぎづめをさらに自身の血で強化して、相手の血肉を抉り取る。

名前:本当は月下(つきした)だろうけど、生みの親のことを知らないのにそれを名乗るのみな、と思ひ呼び方をわざと変えている。  
夜の方が生きやすいから名字自体は気に入っている。  
名前も適当に自分で決めた。二月生まれなんかも。確かに太陽よりも月の光の方が落ち着くかなと思っている。

生誕/闘争:生まれたときからオーヴァード。  
生まれたての時は当然ながら能力のコントロールが全くできず、  
キュマイラとしての獣化やブラム=ストーカーとして自身の血液を操る行為を見境なく行っていた。  
生みの親は存在を畏怖し、生まれてすぐに彼女を捨てた。  
"異形の赤子"の噂を偶然耳にしたUGN職員がそのまま保護。育成。  
本人は両親に対して何の感情もない。(顔も覚えていないので)  
戦うのが好きなのは、生まれた時から誰とも分かり合えなかった寂しさが紛れるからなのかもしれない。